令和３年１１月１日

保護者　様

鹿沼市立南摩中学校長　　安田　晃章

**感染症警戒度レベル１の対応に伴う本校の教育活動について（通知）**

　 日ごろより、本校の教育活動に対しまして御理解、御協力をいただきありがとうございます。

さて、昨日より本県を対象地域とする感染症警戒度レベルが１に引き下げられたことに伴い、鹿沼市からの指示・伝達等がありました。それらを受けまして、本校としての対応につきまして、下記のとおりお知らせいたします。これまで取り組んできたことと重複することもございますが、御確認のほど、よろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症を理由にした生徒等へのいじめや偏見、差別などにつながるような行為は断じて許されないものであり、今後も感染症に対する適切な指導を行い、改めて生徒等の人権に配慮した対応を継続してまいります。

記

１　登校、及び日課について

・通常登校、及び通常日課とします。

２　授業等について

・引き続き、感染症防止対策を講じながら実施いたします。

（感染症防止対策が十分に行えない活動や学校行事については、中止、又は延期する場合もありますので、その都度お知らせいたします。）

３　感染症対策について

1. 基本的な感染症対策の徹底

●**引き続き、発熱等の風邪の症状がある場合等には、生徒・教職員は自宅で休養することを徹底します（PCR検査で陰性であっても風邪症状がある場合、及びワクチン接種による副反応も同様となります）。**

**その際は、これまで同様に「出席停止」扱いとすることを基本といたします。ただし、今後は本人の発熱の程度や具体的な症状、医師の診断結果などにより、「欠席」扱いとなることもありますので、個別に対応いたしますので、御相談ください。また、これまで同居の御家族に風邪症状が見られる場合も同様となっておりましたが、今後は保護者の判断で、お子さんを登校させることは可能となります。**

・生徒、教職員の健康観察を引き続き徹底します。御家庭でも毎朝検温を行うとともに、風邪症状等を確認し

た場合は、無理をすることのないようにお願いいたします。**なお、同居の御家族等の健康観察の確認は必要ありませんので、１１月からの健康観察カード（一部変更）の内容に沿って、御記入ください。**

・手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策も続けます。御家庭でも十分に御指導ください。

　 ・生徒や教職員のマスク着用も徹底します。できる限り、不織布マスクの着用を、お願いいたします。

・学校において生徒の様子にわずかでも変化が見られたときには、これまで同様に御連絡いたします。お手

数をおかけいたしますが、その際は、速やかなお迎え等の対応を、お願いいたします。

1. 適切な環境の保持

　 　・教室等のこまめな換気を心がけるとともに、空調や衣類による温度調節を含めて、温度、湿度の管理に努め

ます。

　 　・多くの児童や教職員が、手を触れる場所や教具等については、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して消毒を行っています。

４　学びの保障（欠席等の児童への支援）について

　 ・コロナ等を理由に登校できない児童への支援については、タブレット等の活用も含めた学習支援を行うよう

にします。また、登校後の補充学習も検討していきます。

　 ・タブレットの接続テスト、動作確認、大変お世話になりました。今後の状況によって臨時休業等になった場合、

**家庭においてタブレットを活用した学習が行われることが予想されます。その場合は、御協力をお願いいたし**

**ます**。

５　給食の対応について

・配膳中のすべての生徒・教職員のマスク着用も、引き続き、徹底します。

・食事前後の手洗いの徹底も、継続します。

・会食中の飛沫が飛ばない対応として、「机を向かい合わせない」「会話を控える」「不要な出歩きはしない」

「おかわりは教職員が行う」等は継続します。

６　学校行事等の実施に関すること

・感染対策を十分に取った上での活動が可となります。

・学校行事の実施については、それぞれの学校行事における学習活動の特徴に応じて感染拡大防止の措置

や開催方式の工夫等の措置を講じたり、延期したりする等の対応を行います。

　 **・部活動は、１１月より、土日の練習や、対外試合等の実施が、可となります。各部の練習予定表などで、御確**

**認ください。ホームページにも、随時掲載いたします。**

７　生徒等が感染してしまった場合の対応について

　 ・感染症対応と、学びの保障の両輪で対応していきます。

・市教委や保健所の指導を基にした、適切な対応を心がけます。

表１　新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準（文部科学省作成）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地域の感染レベル | 身体的距離の確保 | 感染リスクの高い教科活動 | 部活動（自由意思の活動 |
| レベル３ | できるだけ２m | 行わない | 個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定 |
| レベル２ | できるだけ２m（最低１m） | リスクに低い活動から徐々に実施（収束局面）感染リスクの高い活動を停止（拡大局面） | リスクに低い活動から徐々に実施し教師等が活動状況の確認を徹底 |
| **レベル１** | **１mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること** | **適切な感染対策を****行った上で実施** | **十分な感染対策を****行った上で実施** |

表２　地域感染レベル別　発熱対応の目安

|  |  |
| --- | --- |
| 地域の感染レベル | 熱の状態 |
| レベル３ | 平熱より０.５℃高い状態 |
| レベル２ | **平熱より１.０℃高い状態** |
| **レベル１** |